

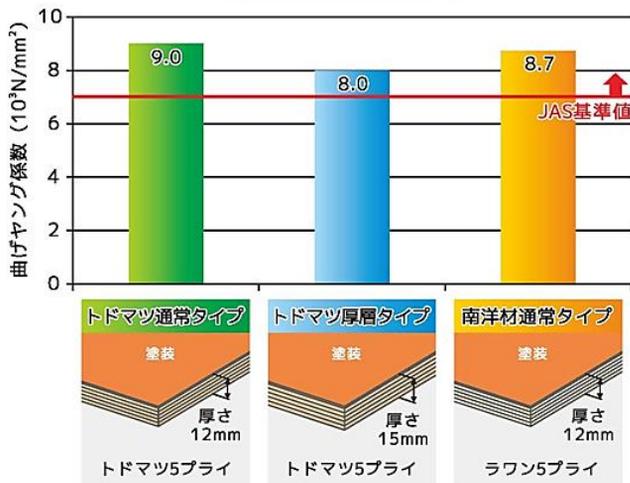
行政の窓

道産トドマツ材を使用したコンクリート型枠用合板

土木工事で使われるコンクリート型枠用合板のほとんどは外国産のラワン材を原料としていることから、道では、道産木材の利用促進を図るため、コンクリート型枠用合板に道産トドマツ材の利用を進めています。

強度試験の結果では、JAS基準をクリアしており、道の森林土木工事での試用にあたっても性能上の問題がなかったことから、今後、道の各種工事での利用推進を図るとともに、市町村等へ利用を働きかけることとしています。

曲げ剛性試験



JASの曲げ剛性試験を行った結果、トドマツ材を使用した型枠材の剛性は、JAS基準をクリアしました。

現場の声

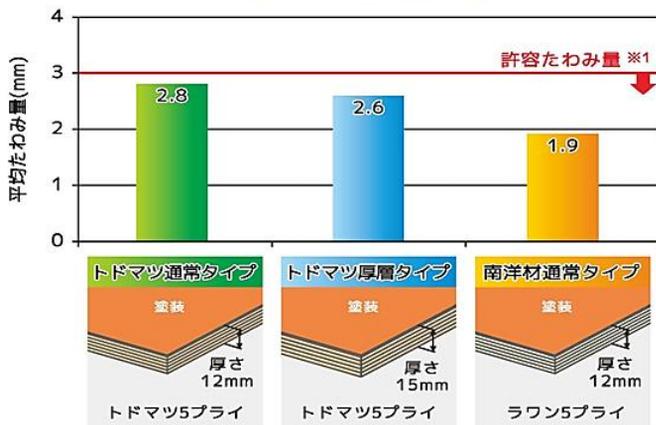
- 従来品に比べると、切断や穴あけなど加工がしやすい
- 軽いので扱いやすい
- 施工性など、使い勝手は変わらない
- 柔らかいため締め付け具合が判断しづらい

使用にあたっては

基本的に従来品と変わらないので、通常通りの作業が可能です。

ただし、材が柔らかいので、セパレーターの締め付けや打釘の際は、力加減に注意してください。

たわみ量調査



全道10か所の森林土木工事の現場で、コンクリート打設前後の型枠のたわみ量を、150回調査しました。その結果、トドマツ材を使用した型枠は、許容たわみ量 ※1 をクリアしており、問題なく使用できることを確認しました。

また、同時におこなった型枠表面の損傷状況調査では、転用3回目でも大きな損傷はなく、繰り返し使用できることを確認しました。

※1 土木学会、仮設構造物の計画と施工、2000

表面損傷状況調査

空知管内の森林土木工事で3回転用した後の型枠表面の状況



(水産林務部 林務局林業木材課 需要推進グループ)